

こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< 219 2015.3.4 連絡先 402-1622 >

代表質問行いました

子どもの貧困について

子どもの貧困率（平均的所得の半分を下回る世帯で暮らす子どもの割合）が16.3%になり、6人に1人が貧困状態にあります。貧困は子どもの心身の発達に影響を与えるだけでなく、大人になっても再び貧困となる場合が多く、その連鎖が問題となっています。市長の認識と、具体策を問いました。

市長は「貧困の連鎖が原因で子どもたちの未来が閉ざされることがあってはならない」と答弁を行い、就学援助は修学旅行費を中核市並みに引き上げる予算を計上しているとししました。

社会保障について

国の新年度予算案では、社会保障は大きく削減の内容となっています。年金などの支給は減らし、介護保険料・利用料などの負担は増やす、こういう社会保障の後退は、市民の暮らしに大きな影響を与えたいと思います。市長の考えはどうか、ただしました。また、市民負担が増えている現実に対し、市民の暮らしを守る立場で、国に対して「モノを言う」必要があると考えるがどうか問いました。

市長は「少なからずとも生活に影響を及ぼしている」と考える、「国へ、負担割合を増やすよう要望する」と答えましたが、市の国保料は高いと認識、介護保険料も高いがやむを得ないとししました。

防災については、公共下水道直結型仮設トイレの設置は目標48か所590基に対し今年度末20か所230基、5年後には43か所520基整備の予定とししました。

農業については、市長は「農業は、多面的機能を有するかけがえのない基幹産業である」と答弁。食料自給率の目標と計画は、見直しを予定している長期総合計画の中で掲げたいとししました。

みち子のひとりごと 課題

豊かな愛情のもとで育てられたなら、平気で人を傷つけるような子どもには育たないはず。子どもを被害者にはもちろん、加害者にもしない。そのために私たち大人がすべきことは何か、大きな課題が突きつけられました。



長女がインターネットでつぶやいています。「長女（5才）と長男（2才）が寝るときに、私の右にまくらをくっつけて寝るので、自分の枕の幅しか使えない、枕を大きいのかえようかな」と。身の重の彼女には確かに狭くて寝苦しいだろうけど、枕を変えても結果は同じでしょう。

思い出しました、自分の子育ての頃。やっぱり、長男と長女が両サイドを占め、仕方がないから3人目の次女はお腹の上に乗せて、「よしよし」していたことを。そんな時期もあつたなあと。小さい頃のスキンシップはいくらしてもしすぎることはなく、心の成長の土台となるでしょう。

